

農業総合センター畜産研究所「種鶏改良増殖施設」内覧会について

福島県農林水産部農業振興課

1 開催趣旨

平成28年4月より、旧農業総合センター畜産研究所養鶏分場の種鶏維持・改良・増殖機能を、畜産研究所内に新設した種鶏改良増殖施設に移します。本県オリジナル地鶏「川俣シャモ」「会津地鶏」等の振興を支える新施設が完成したことを県内関係者に周知し、もって県内地鶏振興に資するため内覧会を開催します。

2 開催日時・場所

平成28年4月12日（火） 11時～12時

福島県農業総合センター畜産研究所「研修館」（福島市荒井字地蔵原甲18）

3 開催内容

(1) 進行

挨拶 福島県農林水産部長 小野和彦

祝辞 福島県議会農林水産委員長 遊佐久男 様

概要説明 福島県農業総合センター所長 小巻克巳

施設内覧

試食 福島県産地鶏の焼き鳥（「会津地鶏」、「川俣シャモ」、「本宮烏骨鶏」）
本宮烏骨鶏のつくね汁

提供：会津養鶏協会、(株)川俣町農業振興公社、(株)本宮烏骨鶏

(2) 参集者

県議会議員（農林水産委員、地元選出）、県内地鶏生産団体、関係機関・団体

4 「種鶏改良増殖施設」整備概要

- (1) 事業期間 平成25～27年度の3カ年 (2) 総工費 約10億円
- (3) 財源 東日本大震災農業生産対策交付金（国庫1/2）、特別交付税措置90%
- (4) 整備地 畜産研究所敷地内
- (5) 規模 造成面積17,500㎡、建築面積3,173.59㎡（鶏舎7棟、付帯施設他）
- (6) 設計思想 徹底した防疫対策、環境負荷の低減、省力化

5 その他

- (1) 本施設については、防疫上の観点から今後関係者以外の立入りを制限することから、稼働前に内覧会を開催するものです。
- (2) 養鶏分場からの引っ越し作業において、鶏の移動は防疫・衛生上のリスクを最小限とするため、すべて卵で移動します。新しい施設で種鶏の供給が安定して行えることを確認しながら、年内中の完了を目指します。

問合せ先

福島県 農林水産部 農業振興課 主幹 久力 幸

電話024-521-7317 内線3176